

生徒指導に関する講演会 演題『教育相談をベースにした生徒指導～不登校の予防と対応について～』

鹿児島国際大学 特任教授

おおつほ はるひこ

鹿児島大学 名誉教授

大坪 治彦 氏



【大坪 治彦 先生の御紹介】

九州大学大学院 文学研究科 博士課程 心理学専攻 修了
鹿児島大学 教育学部附属 教育実践総合センター 副学部長
現在 鹿児島国際大学 特任教授 鹿児島大学 名誉教授
独立行政法人教職員支援機構 教職員等中央研修 講師

専門は教育心理学、認知心理学、学校臨床心理学。学校不登校児への臨床援助に関する研究、開発的カウンセリングに関する研究等をテーマとし、カウンセリングや認知心理学等に関する多くの著書や論文を発表。

11月28日(木) ライフパーク倉敷 大ホールで『教育相談をベースにした生徒指導～不登校の予防と対応について～』と題し、「生徒指導に関する講演会」を開催しました。会場には倉敷市内の教職員等116名の方々が集まりました。

- カウンセリングマインドを教育に生かす。
⇒ 「肯定的人間観」や「傾聴・受容・共感」の態度により子どもの自己肯定感が向上する。
- 構成的グループエンカウンターを実践する。
⇒ 「自己肯定感」・「コミュニケーションスキル」・「シンクロ感」のいずれも高められる。
- 「不登校」・「いじめ」・「暴力行為」などへのカウンセリング的対応をする。
⇒ 子どもの気持ちを理解し、その思いをできる限り伝えるという双方向の関係で援助できる。

具体的な事例やロールプレイを通じて学ぶことができました。倉敷市の教育の基本理念に掲げられている「よい子いっぱいのもち倉敷～信頼と愛情に基づいたあたたかい心を基調として～」につながる大坪先生の温かいお話、参加された先生方は「子どもたちの明日が笑顔で希望にあふれるように」という思いで聞き入られていました。

《参加された方の感想》

- ・子どもから相談を受けたときに、気持ちをフィードバックしてあげることが大切だと学びました。
- ・つい原因を探すだけになってしまったり、答えることに必死になってしまったりしていました。
- ・気持ちの実況中継、ぜひしてみたいと思います。
- ・もうすぐ教育相談が始まります。今日の学びを全教職員で共有します。
- ・つつい子どもたちのよくないところが目立ってしまい、なかなか褒めていないと改めて感じました。
- ・教師の思いを押し付けるのではなく、子どもの気持ちに寄り添うことが大切だと思いました。
- ・カウンセリングとして必要なのは「今」、そして「心情」を理解することだということがよく分かりました。
- ・「いま ここで」というキーワードは様々なケースで大切な出発点になりそうです。
- ・「その気持ちよく分かるよ。」の押し売りはいらないと感じました。
- ・気持ちを共有し、分かろうとし、大切に。そのために自分自身を豊かに磨いていこうと思います。
- ・自分も気付かずに「なぜ?」「どうして?」と子どもを問い詰めていることに気付かされました。
- ・ロールプレイをしながら、自分だったらどうするか、クラスをイメージしながら考えることができました。
- ・コミュニケーションスキルを高めて友人関係を増やしていくことができれば、いじめなどに気付いたり、止めたりすることができると思いました。



研修風景



3年目研修（小中連携体験研修）

3年目研修では、小学校・中学校で連携体験研修を行いました。異校種へ半日行かせていただき、発達段階の異なる子どもたちの様子や先生方の取組等を知ることで、小中のつながりを再確認する研修となりました。

（研修報告書から）

今回の研修に参加したことで中学校での生活のリズムが分かり、小学校で身に付けさせておきたい力がいくつか明確になりました。例えば授業に対する集中力や持ち物に対する整理能力などです。また、自分で計画して課題に取り組む力を育むために、視覚的な支援を活用しながら指導されていました。中学校では心身ともに大きく成長する時期なので、先生方が声の掛け方や距離感などを工夫しながら指導されていることが分かりました。（小学校教諭）

研修を通して一番感じたことは、小学校で「当たり前」にできていたことを中学校でも大切にしたいということです。「なぜしなければならない（してはいけない）のか」が生徒の心に響くような指導をしていきたいと思いました。また、小学校の担任の先生方がされているように、普段の何気ない生徒のつぶやきを確実に拾うことで、生徒の小さな変化に気付くような学級経営をしていきたいと思いました。（中学校教諭）

初任者研修（会場校園をお借りして）



初任者研修では、学習指導と評価・道徳科と特別活動・幼小中連携・特別支援教育の研修で、毎年会場校園をお借りし、1日その学校園で研修をさせていただいています。今年度は、万寿小学校・玉島西中学校・中洲小学校・郷内中学校・中庄幼稚園・帯江小学校・倉敷支援学校で研修をさせていただきました。会場校園の研修は、日々の実践に直結する貴重な学びの場となったようです。

（受講者の感想から）

今日の問題を既習事項と結び付けて考えさせ、自然な流れの中で授業が進んでいきました。既習事項を使えるように習慣づけることが、新たな学びにつながると分かりました。笑顔で話す先生の姿が印象的で、子どもたちにも安心感があったと思います。小さなことも見逃さずに褒めることの大切さも学びました。（小学校学習指導と評価・万寿小学校）

学校教育目標や校訓の内容を、自分自身で具体的に考えていくことの大切さを学びました。これを、全ての教育活動に反映させていくようにしたいと思いました。また、「心のカップを上向きに」というお話がとても印象に残りました。

（中学校学習指導と評価・玉島西中学校）



道徳のまとめは子どもへの道しるべであり、振り返りはその子ども自身の価値観であると学びました。学級会では、提案理由や話合いのポイントが板書に明確に示されていて、子どもたちもこの視点をもとに発表していました。この視点がみんなに大切にされているのだと分かりました。

（小学校道徳科と特別活動・中洲小学校）



私自身、「道徳科」＝「話し合い活動」という概念をもっていたのですが、他の先生方と対話をしていく中で、他者との対話だけが全てではなく、自分との対話をすることで、より深まっていくのだということを学びました。

（中学校道徳科と特別活動・郷内中学校）

16年目研修

教職経験15年の先生方の研修として、第1回は、倉敷市立西中学校 松本一郎校長先生より「どんなときも大丈夫～ポジティブに自分らしく生きる～」、第4回は、国士舘大学 北神正行教授より「学校組織マネジメント」について講義・演習を行っていただきました。ミドルリーダーとしての在り方について考える機会となりました。

（受講者の感想から）

ポジティブな行動が増えることで、自然とみんなの笑顔が増えてきます。問題行動をなくす努力よりも、ポジティブな行動を増やす努力の方が私たちも頑張れます。グッドヒエイピアカードの実践は一人で行うのではなく、学校全体で取り組んでこそ効果が上がると思います。これが私たちミドルリーダーに求められている「学校を組織的に動かす実践力」なのだと思えました。（第1回）

ミドルリーダーの立場だからこそできること、しなければならないこと、やってみたいことを考えるよい機会になりました。学校は個業にならないように、協働するチームとして教育目標を共有し、それに向かっていくことが必要だと思えます。1×1×…ではなく、1+1+…のプラスαの組織にしたいです。「組織は人なり」という北神先生の言葉が心に残りました。この研修で学んだことを生かして、倉敷の子どもたちのために、ミドルリーダーとして頑張ります。（第4回）



学校生活をスムーズに送ることが最終目標ではなく、社会に出て自立していくことをめざしているというお話がありました。言葉遣いや姿勢、目線、声の大きさなど、基本的なことの徹底をしている様子を見て、「何をめざして、何を教えていくのか。」ということを考えていきたいと改めて思いました。（特別支援教育・倉敷支援学校）

「教師は、子どものよき理解者であり、共同作業者であり、憧れを形成するモデルであり、遊びの援助者である。」と学びました。遊びの中で、人間関係を学んでいく姿を見ました。先生がつくる「環境」がいかに大切かを実感しました。

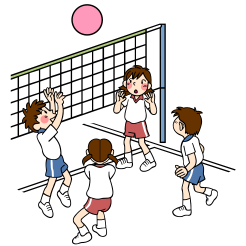
（幼小連携・中庄幼稚園）

小学校での取り組み方を知るとということが非常に大切だと感じました。授業の中でコミュニケーション能力を高めるという視点が十分ではなかったので、発達段階や生徒の実態に合わせて授業内容や授業形態を工夫していきたいと思えます。（小中連携・帯江小学校）





倉敷ふれあい教室の行事



倉敷ふれあい教室では、5教室合同で体験活動を行っています。いずれの行事でも、教室の仲間と協力することの大切さややり遂げた喜びを感じることができました。また、他教室の仲間と触れ合い、人間関係を広げ、成長した姿を見ることができて大変うれしかったです。

ふれあい宿泊自然学習

(7/11(木),12(金) 倉敷市少年自然の家)

ふれあいソフトバレーボール大会

(9/10(火) くらしき作陽大学 体育館)



ふれあいクラスマッチ

互いに離れた教室同士でも一体感をもつことができる合同行事として、毎月1つの課題に挑戦しています。「ペットボトルキャップタワー」や「ケンケンバランス」など、シンプルながら緊張感もある課題を楽しみながら競い合っています。



ふれあい文化祭

(11~12月 各教室)

各教室で特色のある出し物や作品展示があり、子どもたち一人ひとりが活躍する姿が見られました。

倉敷



多人数のよさを生かして射的、創作、気配り切りゲームやお茶席など、複数のコーナーに分かれて、保護者の方や先生方への説明や運営にあたりました。牛乳パック紙すき皿や、ひょうたんサンタなどの他、数多くの作品を教室のあちこちに展示しました。

水島



ライフパーク倉敷の大ホールで、まずスライドで普段の活動の様子を紹介した後、〇×クイズを保護者の方や先生方全員で楽しみました。カップスでは輪になってたくさんの方と一緒に実演しました。模様遊びや書道の作品などの展示もしました。

児島



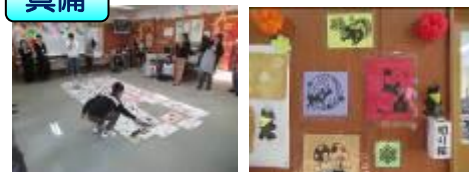
保護者の方や先生方とどら焼き(あんは教室の畑で採れたさつまいも)を作りました。「嘘ニュース」「クイズ」をし、コマ回しを披露しました。おもてなしタイムでは話を弾ませました。唐傘やコースターなどの作品も展示しました。

玉島



保護者の方や先生方と一緒にカーリンコンを楽しみました。その後、たまカフェで飲み物とスイートポテト(さつまいもは教室の畑で収穫)のおもてなしをしました。最後は歌でゆったりとしたひとときを締めくくりました。コマや芋づるリースも展示しました。

真備



俳句、歌、演奏の発表の後、皿回しの演技をしました。その後、保護者の方や先生方に回し方を丁寧に教えました。手作りの巨大トランプでは和気あいあいとした雰囲気ですべとバ\\抜きをしました。切り絵や玉ねぎ染めなど多くの作品を展示しました。

アンケートの感想より

- ・本人も家で練習していたので、自信をもってできたんじゃないでしょうか。
- ・笑顔で過ごしている姿を見て、とても安心しました。
- ・真剣に取り組む息子の姿を見て、「ふれあい楽しい。文化祭楽しみ。」と言っていた意味がよく分かりました。
- ・人前に出ることが苦手かもしれないのに、一生懸命練習し、頑張って発表しているんだと思うと少しウルっときてしまいました。

倉敷ふれあい教室めぐり

☆ 豊かな自然と歴史に囲まれて

☆☆ 玉島教室 ☆☆

倉敷ふれあい教室玉島教室は、旧玉島児童館にあります。周辺には、良寛さんゆかりの円通寺や玉島港があり、自然に恵まれ、ゆったりした空間で、のびのびと活動しています。

現在教室には、小学5年生から中学校3年生までの6名が在籍していて、3名の指導員とアットホームな雰囲気の中で活動しています。フリータイムには、みんなでUNOやトランプゲームをしたり、ソフトバレーボールや卓球をしたりして楽しんでいます。

1日の活動としては、みんなと一緒に取り組む「なかよし」活動が午前中に、一人ひとりの進度にあわせた「スタディ」が午前と午後にあります。「なかよし」では、創作活動、スポーツ、調理実習など様々な体験に取り組んでいます。また、定期的にボランティアの方々から、季節のお花の生け方やお茶のたて方を学んだり、合唱やトーンチャイムを使って音楽を楽しんだりしています。



7月に行われた宿泊自然学習では、最後の最後にどしゃぶりの雨にあいながらも諦めずに全員揃ってゴールすることができたウォークラリーや、皆で協力して美味しいカレーライスを作ることができて、子どもたちはひとまわり大きく成長することができました。

日々の活動の中で、多くの方とふれあい、いろいろなことにチャレンジし、やり遂げた後の「やればできるんだ。」という小さな達成感を積み重ねていくことを大切にしています。

☆ 和気あいあいとした
活発な雰囲気です・・・

☆☆ 水島教室 ☆☆

倉敷ふれあい教室水島教室は、ライフパーク倉敷内にある倉敷教育センター事務室の隣りにあります。福田公園の近くにあることから、公園の散策をして四季を感じたり、テニスコートなどを利用したりして過ごしています。施設内は空調も完備されており、過ごしやすく、恵まれた環境の中で活動できています。

今年度も引き続き、教室目標は「一歩」です。日々一歩ずつ前向きに進んでほしいという思いを込めて教室の前に掲げています。

「なかよし」活動では、年間を通していくつか継続しての活動に取り組んでいます。

「幼稚園交流」は、年間4回交流しています。幼児とふれあいながら、楽しく水遊び・泥んこ遊び・ままごと遊び・かくれんぼ・おにごっこ・ダンスなど、たくさんの活動をします。回を重ねるごとに、幼児も親しみを感じてくれるようになり、自然に笑顔あふれる楽しい活動になっています。

「スポーツ」は、研修室で卓球、大ホールでソフトバレーボール・バドミントン・ニュースポーツ、福田公園のテニスコートで硬式テニスをしています。初めての人もいますが、少しずつうまくなってゲームができるようになり、仲良く楽しんでいます。



また、外部講師の方をお願いして、月に1回程度書道・茶道をしています。他にも、ボランティア活動（窓ふき・地域のごみ拾い）、栽培活動（夏野菜）、レクリエーション（トランプ・ボードゲーム）、創作活動（段ボール工作・折り紙）などの活動もしています。

「スタディ」の時間には、各自の学習課題に取り組んでいます。仲良く活動し、笑い声の絶えない活発な雰囲気の教室です。

